

誇りにしています。私達の熊本。

〈テクノポリスに向けての熊本の優れた条件〉

熊本市を中心とする地域は、豊かな自然環境に恵まれ、長い伝統に培われた個性的な文化も育ってきています。また、他の地域にない広大な土地・良質で豊富な水、澄んだ空気と温暖な気候、更には、地理的に九州の中心に位置しているなど、優れた条件を持っています。技術や産業の分野でも新しい芽が着実に育ってきています。加えて勤労で意欲的な県民性を考えるとき、熊本は、まさにテクノポリスが根づいてふさわしい場所だと言えます。

〈21世紀の熊本づくり〉

このような熊本の持っている優れた条件を基礎に、県内企業の技術力の水準など熊本のあらゆる可能性を地道に踏まえながら、21世紀を射程距離にのぞいた「まち」づくりの方向として、熊本テクノポリス建設を選択し、現在、県政の中で大きな力を注いでいるところです。

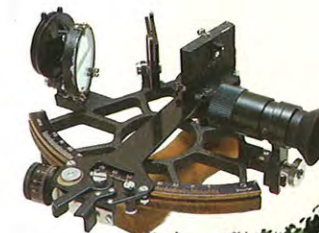
テクノポリスは、生き活きとした産業活動、これを支える研究開発、更には日常的に潤いのある文化的な生活環境、いわゆる産・学・住が一体となって実現されるものですが、この三つの要素についてみても、熊本ではテクノポリス建設を現実のものとしていくために必要な基礎は十分にできていると確信されます。



肥後椿
肥後ツバキなど肥後六花は、江戸時代中期から明治時代にかけて品種改良されたもので、その栽培法、観賞方式においても、他の地方にみられない独特の風格があり、わが国園芸の中でも特殊な存在として知られています。

天草学林

1591年から1597年にかけて、天草にあった大神学校「天草学林」は、暦学、気象学など、当時のヨーロッパにおいても最高の水準をもつ学問を、日本にもたらし、数多くの人材を輩出しました。



肥後の石工

熊本城の美しい石垣や、江戸時代後期の日本土木技術の最高傑作とされる矢部の通潤橋など、熊本には、優れた石橋や石垣が非常に多く、その工法における技術水準は高く評価されています。